

# エネルギー不足時代における現代生活の在り方に関する考察

## 【目次】

はじめに	第4章 現代生活の在り方
第1章 世界におけるエネルギー事情	第1節 化石燃料依存度
第1節 エネルギーの歴史	第2節 見直すべき生活（電気編）
第2節 世界のエネルギー	第3節 見直すべき生活（その他）
第2章 省エネは省エネか	終章 総括
第1節 浪費時代のリサイクル	あとがき
第2節 循環型社会への動き	
第3章 次世代エネルギー	
第1節 クリーンエネルギー	
第2節 エコの落とし穴	

## 【目的】

日々の生活に欠かすことの出来ないエネルギー。今日、産油国の情勢不安定や異常気象による被害などにより“エネルギー価格”が高騰しており、世界中が危機的状況に陥っている。そういった背景の中、エネルギー消費の減少を目的とした省エネの動きが出てきている。この「省エネ」に関して、製品製造をしてきた生産者サイドだけを見るのではなく、消費者サイドである私たちの生活の中で節約の可能性を探りつつ、現代社会の姿を考察していく。

## 【方法】

エネルギーに関する基礎知識を文献やインターネットを利用して把握をする。その上で、日々の生活で利用する家電製品等の消費エネルギーを計算などで表し、より地球に優しい生活を送れるかを検討。

## 【結果】

一言で言うならば「現段階における地球に優しい生活」は不可能。そもそも、利益を追求する資本経済の中で地球環境を配慮したシステムでは成り立たないためである。そして、国からも推奨されているエコ活動も、エコという言葉に踊らされ無駄なエネルギーを消費させているだけということもわかった。

しかしながら人間の活動がある限り仕方の無いこととして終わらせてはいけない。今日のリサイクル等のエコ活動はまだまだ欠点が多く十分とは言えないが、これを始まりとして捉えて一人一人が事実を受け止め意識を高め、できることからやっていく。それには、国・生産者・消費者が足並みを揃えて一体化しなければならない。そして、他の情報に流されるままではなく真に一人の「もったいない」意識を全員が認識した時、本当のエコ活動が実現すると確信している。

## 【参考文献】

- 『暮らしの中のエネルギー』岩船由美子著 電気学会（2001）
- 『循環型社会』吉田文和著 中公新書（2004）
- 『リサイクル幻想』武田邦彦著 文藝春秋（2000）
- 『リサイクルをしてはいけない』武田邦彦著 青春出版社（2000）
- 『東京電力』<http://www.tepco.co.jp/custom/LapLearn/index-j.html>